

令和7年度山梨県普及センターだより（3月号）

耕畜連携による飼料生産の取り組み ～水田での牛のエサ作り～

農業革新支援スタッフ

北杜市内では、牛の飼料としてイネホールクロップサイレージ(WCS)の生産が行われています。水田転作対策として始まったWCS生産ですが、輸入粗飼料価格の高値が続いていることもあり、今では管内の畜産農家にとって重要な地域産の粗飼料となっています。そして、イネ栽培のための肥料として牛糞堆肥はWCSを利用している畜産農家から供給されており、WCS生産は耕畜連携の取り組みとなっています。

WCSを生産している農業法人は栽培技術の向上に努力するとともに、ドローンによる播種新しい技術にも取り組むなど、数量・品質ともに安定したWCS生産を行ってきています。

当該農業法人は食用米も生産しており、収穫後の稲わらはロールに調製され、こちらも畜産農家等での利用に供給しています。

この耕畜連携による地域内飼料粗飼料生産が今後も安定して継続されるよう支援していきます。

